

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	富士大学
設置者名	学校法人 富士大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信		56	2	58	13	
	経営法学科	夜・通信			2	58	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPにおいて公表 http://www.fuji-u.ac.jp/life/kyoumu
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	富士大学
設置者名	学校法人 富士大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.fuji-u.ac.jp/soumu	○法人情報 「私立学校法第47条第1項に定める役員等名簿」
---	----------------------------------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士法人大手門会計会長 不動産鑑定士 税理士	H9.4.9 ～R3.4.8	経理・財務関係を中心 に意見を聴く
非常勤	(株)東華商会代表取締役社長 花巻商工会議所副会頭	H26.3.21 ～R3.4.8	経営全般について 意見を聴く
非常勤	関司法行政事務所所長	H14.5.25 ～R3.4.8	法務関係を中心 に意見を聴く
非常勤	職業訓練法人北上情報処理 学園理事長 前北上市長	H27.4.9 ～R3.4.8	経営全般について 意見を聴く
非常勤	(株)アジテック取締役会長 前北上商工会議所会頭	H27.4.9 ～R3.4.8	経営全般について 意見を聴く
非常勤	(株)中央コーポレーション 代表取締役社長 花巻商工会議所副会頭	R1.5.8 ～R3.4.8	経営全般について 意見を聴く
非常勤	(株)AD. MAX 代表取締役社長	R1.5.8 ～R3.4.8	経営全般について 意見を聴く
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	富士大学
設置者名	学校法人 富士大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学のシラバスの記載項目は、以下のとおりである。</p> <p>対象学生、科目区分、授業方法等、授業の概要と到達目標、教科書、参考書、関連科目リスト、学修方法指示(準備学習等含む)、成績評価方法、授業回数ごとの授業内容</p> <p>この項目に沿った「シラバス作成要領」を作成して、教員に示し、各教員はそれに従って、アイアシスタント(電子シラバス)に入力する。</p> <p>各シラバスが「シラバス作成要領」で求められている事項に合致し、記載内容が適正であるかという観点から、教務委員会でシラバスチェックを実施し、修正が必要な場合は、各教員に修正を指示する。</p> <p>シラバスの公表は、新年度のガイダンス・履修登録期間に必要となるので、4月当初に行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	http:// www.fuji-u.ac.jp/iassistant
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシーの単位認定(卒業認定)の方針を明記したシラバスにある成績評価の方法基準により、厳正に実施している。成績評価の方法としては、定期試験 %、レポート %、受講態度 %というように具体的に明示している。</p> <p>また、卒業論文を4年間の学修の集大成と位置づけ、卒業論文評価基準に従って、4年間の学修成果を点検・評価する。評価基準としては、身につけるべき力として、以下のものを挙げている。</p> <p>①問題発見力 ②情報を収集・分析・整理する力 ③専門知識 ④論理的思考力 ⑤問題解決力</p> <p>同時に、卒業論文作成に対する取組姿勢の評価と学修ポートフォリオの評価も加え、一人ひとりの卒業論文について総括的評価を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAは、学生に対する個別の学修指導、奨学金や授業料免除対象者の選定基準などに活用する。</p> <p>その算定方法は、「富士大学 GPA に関する規則」の第5条に明記しており、ホームページや履修ガイドブックで公表している。</p> <p>GPAの算出方法は、次のとおりである。</p> <p>GPは、成績評点を基に算出する。</p> <p>$GP = (\text{成績評点} - 55) \times 10$ (ただし、$GP < 0.5$ は $GP = 0.0$ とする) $GPA = (GP \times \text{当該科目の単位数})$ の総和 / 履修総単位数</p> <p>半期ごとに教務委員会で「GPAの分布について」全学生の1年から4年の経年の変化がわかる資料を作成し、学年別・学科別・男女別等に分布の状況を把握し、現状の分析等を行っている。</p> <p>その結果は教授会で報告している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	[GPAに関する規則] http://www.fuji-u.ac.jp/life/kyoumu
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針であるディプロマ・ポリシーを学科ごとに策定し、その中で〔知識〕〔技能〕〔態度〕の3つに分け、卒業時に身に付けている能力を詳細に記載しており、ホームページで公表している。</p> <p>教務部が単位修得状況等を記載した卒業判定資料を作成する。</p> <p>その資料を基にして、教務委員会で卒業判定案の作成を行う。</p> <p>その後、教授会で厳正に審議を行い、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	[教育理念] http://www.fuji-u.ac.jp/overview/kengaku

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	富士大学
設置者名	学校法人 富士大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fuji-u.ac.jp/soumu
収支計算書又は損益計算書	http://www.fuji-u.ac.jp/soumu
財産目録	http://www.fuji-u.ac.jp/soumu
事業報告書	http://www.fuji-u.ac.jp/soumu
監事による監査報告(書)	http://www.fuji-u.ac.jp/soumu

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: [自己点検評価書] http://www.fuji-u.ac.jp/soumu

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http:// www.fuji-u.ac.jp/jihe
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法: http://www.fuji-u.ac.jp/overview/kengaku) (概要) 建学の精神に基づき、次に掲げる人材を育成することを教育目的とする。 ・専門性と同時に教養を身に付け、国際感覚と語学力、情報処理能力を備えた人材 (地球的・国際的視野の涵養) ・実践的な専門知識、豊かな創造性、柔軟な問題解決能力を備えた人材 (創造的・実践的知性の開発) ・地域社会に貢献できる人材 (自発的・奉仕的精神の体得)
卒業の認定に関する方針 (公表方法: http://www.fuji-u.ac.jp/overview/kengaku) (概要) 卒業の認定に関する方針として、ディプロマ・ポリシーを策定している。〔知識〕〔技能〕〔態度〕の 3 つに分け、卒業時に身につけている能力等を示している。 専門知識の他に、教養科目も含めた幅広い知識を身に付けると同時に、自分の考えを論理的に説明できる力や情報の収集・分析を行い、問題を解決できる力を身に付ける。 また、自らを律し、多様な組織の中で社会の一員としての自覚を持ち、地域・社会に貢献できるような力を身に付ける。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: http://www.fuji-u.ac.jp/overview/kengaku) (概要) ディプロマ・ポリシーに示す能力等を育成し、教育目的を達成するため、種々の教育内容と教育方法を取り入れた授業を実施し、教育評価を行う方針として、カリキュラム・ポリシーを策定している。 主体的な学びを促進するため、全授業科目でアクティブ・ラーニング、ICT の活用、問題解決型の授業を行う。 教育評価として、学修行動調査等の調査による学修成果の達成状況の点検・評価、2 年次終了時にアセスメント・テストを実施し、専門知識の修得状況の点検・評価を行う。卒業論文を 4 年間の学修の集大成と位置づけ、全学科共通の評価基準に基づき、1 人ひとりの卒業論文について総括的評価を行う。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: http://www.fuji-u.ac.jp/overview/kengaku) (概要) 建学の精神・教育理念に理解を示し、勉学、スポーツ、ボランティア、国際交流等、多岐にわたる活動を通して、日々向上しようとする意欲を持った学生を求めている。したがって、入学者選抜においては、多様な方法を採用し、様々な個性や資質を持った学生を広く受け入れることを、入学者受入れの方針としている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: http://www.fuji-u.ac.jp/overview/soshiki

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
経済学部	3人	—					3人
	—	24人	8人	3人	人	人	35人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		72人					72人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.fuji-u.ac.jp/overview/jiko-com					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>学生による授業評価アンケートを実施し、各教員がPDCAサイクルを基に授業改善報告書を作成している。</p> <p>各学科で、公開授業を実施し、それに関し授業研究会を行い、授業内容・方法について組織的な改善を図っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	190人	230人	121.1%	760人	784人	103.1%	若干人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	190人	230人	121.1%	760人	784人	103.1%	若干人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	127人 (100%)	2人 (1.6 %)	121人 (96.8 %)	4人 (3.1 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	127人 (100%)	2人 (1.6 %)	121人 (96.8 %)	4人 (3.1 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<p>進学：富士大学大学院</p> <p>就職：公務（警察、消防、自衛隊、教員、利尻島国保組合）、銀行（きらやか、北日本）、運輸・郵便（東日本旅客鉄道、フェデラルエクスプレスジャパン）、卸売行・小売業（カワチ薬品、薬王堂、やまや、リコー、バイタルネット、ノジマ、トヨタカローラ、日産プリンス）、建設（積水ハウス、ライト工業）、製造（日本製鉄、JFE スチール、トヨタ自動織機、小野測器）情報通信（岩手朝日テレビ</p>				

、岩手日報社）、電気ガ・ガス（東京ガス）複合サービス（農業協同組合）
（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>（概要） 授業科目については、学則別表（1）に記載 http://www.fuji-u.ac.jp/life/kyoumu 授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画はシラバスに記載 http://www.fuji-u.ac.jp/life/kyoumu</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>（概要） 【様式第2号の3より再掲】 ディプロマ・ポリシーの単位認定（卒業認定）の方針を明記したシラバスにある成績評価の方法基準により、厳正に実施している。成績評価の方法としては、定期試験 %、レポート %、受講態度 %というように具体的に明示している。 また、卒業論文を4年間の学修の集大成と位置づけ、卒業論文評価基準に従って、4年間の学修成果を点検・評価する。評価基準としては、身につけるべき力として、以下のものを挙げている。 ①問題発見力 ②情報を収集・分析・整理する力 ③専門知識 ④論理的思考力 ⑤問題解決力 同時に、卒業論文作成に対する取組姿勢の評価と学修ポートフォリオの評価も加え、一人ひとりの卒業論文について総括的評価を行う。</p>

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124単位	有・無	単位
	経営法学科	124単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位

G P Aの活用状況（任意記載事項）	公表方法：
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.fuji-u.ac.jp/campus>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済学部	経済学科	630,000円	250,000円	250,000円	
	経営法学科	630,000円	250,000円	250,000円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 学生相談室
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 1 キャリア教育と就職支援の連携 2 就職支援 ① 就職ガイダンスの開催 ② 求人情報の提供 ③ 就職相談の充実 ④ 就職対策指導 ⑤ 求人開拓と企業の精査 3 インターンシップ（2学年全員対象）の実施 4 資格取得及び就職対策講座・セミナー、模試の実施 5 就職支援情報システムの運用及び実績調査の実施 6 ゼミ担当者・部活動指導者との連携強化
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学生相談室（専任教員および専任職員による学生相談、カウンセラーによるカウンセリング） 健康診断結果の事後指導等 生活安全講習会他

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：【情報公開】<http://www.fuji-u.ac.jp>